



教育実践コラボレーション・センター企画 第60回 「知的コラボ」の会

ベイズ推論モデルの基礎と 計算論的精神医学での活用

私達が経験を通して信念を更新するプロセスを扱う数理モデルにベイズ推論モデルがあります。時間的に変化していく信念を扱うことからベイズ推論モデルの扱える現象は幅広く、様々な研究領域での活用が期待できます。実際、ベイズ推論モデルを軸として、心理学、認知科学、神経科学、精神医学・臨床心理学、ロボティクス、人工知能・機械学習などの分野を横断した研究もなされてきています。しかし、ベイズ推論モデルには様々なモデルが提案されているので、初学者が学ぶうえで掴みどころがなかったり、ベイズ統計学と混同してしまうこともあるかもしれません。そこで、本講義では、状態空間モデルの基礎から整理してベイズ推論モデルについて解説をします。本講義では数式を用いる場合も解説しますので、講義内容を理解する上で数学的な事前知識は不要になります。また、具体的な研究での活用がイメージできるように、ベイズ推論モデルの実装や応用例である計算論的精神医学研究にも触れます。

【日時】 2025 年3月13日(木)

15:00~17:00

【場所】 教育学部本館 第1会議室

【講師】 国里愛彦 教授 (専修大学人間科学部)

【コーディネーター】

高橋 雄介 准教授(教育認知心理学講座)

- 参加希望の方は、下記のフォームからお申し込みください。※資料準備の都合上、事前申込をお願いします。締切：3月10日(月)

<https://forms.gle/8g2NNwbwTWDZoKH28>

- お問い合わせ等は次のメールアドレスまでお知らせください。collabo@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

